

**第44回
東奥日報社杯争奪
青森県チッココアアイスホッケー大会**



令和 8年 3月14日(土)・3月15日(日)

〔会場〕テクノルアイスパーク八戸

主催 : 青森県アイスホッケー連盟

共催 : 東奥日報社

主管 : 青森県チッココアアイスホッケー運営協議会



あ い さ つ



青森県アイスホッケー連盟
会長 橋本 昭一

第44回東奥日報社杯争奪青森県チビッコアイスホッケー大会の開催を心からお祝い申し上げます。

今回で44回目を迎える本大会は、小学生カテゴリーにおけるアイスホッケーの普及・発展を目的に始まったものであり、大会創設時から長年に渡りまして、東奥日報社様には多大なご協力をいただき深く敬意と感謝を表します。

6年生においては集大成となる大会となりますが、選手の皆さんは今大会に向けて練習をがんばってきたことと思います。また選手の皆さんは、ご両親をはじめ、日ごろから熱心にご指導くださる監督・コーチの方々など、多くの方々の声援と期待を担っておりますので、これに応じて、試合で練習してきたことを発揮できるように、氷上を元気いっぱい走り回っていただきたいと思います。

さて、今年1月に開催された2026 IIHF 女子 U18 世界選手権において、本県からも Hachinohe Club 女子所属の鈴木選手、クリスタルブレイズ所属の佐々木小鶴選手、北海道へ進学されているダイシン所属の沼邊選手の3名が日本代表として世界の舞台で活躍されています。その中でも沼邊選手は、ミラノ・コルティナ 2026 五輪に出場した日本女子代表メンバーとともに昨年12月に苫小牧で行われた女子代表合宿に選出されております。

本大会に出場された選手の中から、世界の強豪国と戦う選手が現れたことを大変嬉しく、また誇らしく思っており、そして今回参加される皆さんの中からもこれに続く選手が現れて欲しいと切に願っております。

結びに、本大会の開催にあたって、ご尽力を賜りました関係各位に対し、深く敬意と感謝を表しますとともに、大会の成功と皆様の更なるご活躍を祈念しましてご挨拶と致します。



あ い さ つ



株式会社 東奥日報社
代表取締役社長 田中 徹

第 44 回東奥日報社杯争奪青森県チビッコアイスホッケー大会の開催にあたり共催社を代表してご挨拶申し上げます。

ここ八戸市は「氷都八戸」の名にふさわしく子供から大人までスケートに親しむ文化がしっかりと根付き、何事にも代えがたい地域の財産になっています。その礎があり、プロのアイスホッケーチーム東北フリーブレイズが八戸市をホームにしていることから、一線級のプレーを体感できる素晴らしい環境にあります。弊社は東北フリーブレイズとメディアパートナー契約を結び、チーム・選手の活躍と地元の盛り上がりを新聞とネットで伝えています。

ミラノ・コルティナ冬季五輪では日本勢の活躍に皆さんも胸躍らせたことでしょう。八戸市では第 80 回国民スポーツ大会「青の煌めき あおもり国民スポーツ大会」冬季大会スケート・アイスホッケー競技が開催され、全国から集まった選手たちのパフォーマンスを間近にした経験は今後皆さんが成長するうえで貴重なものになると思います。

今大会は 2 日間の日程です。これまでチームメイトと練習してきた成果を出せるよう、そして正々堂々とフェアプレーで、最後まで精いっぱいプレーすることを期待しています。

最後になりますが、開催に向けてご尽力いただいた主催者ならびに関係者、保護者の皆様に心から敬意を表し、激励の言葉といたします。

選手の皆さん、勝利を目指して頑張ってください！

青森県チビッコアイスホッケー運営協議会

活動理念

勝利至上主義ではなく育成指導主義の導入

勝敗によって試合数が異なるリーグではなく、定期的な試合を行うことにより、適切にレベル分けしたリーグで、平等で質の高い試合数を確保します。平等で質の高い試合数の確保により、各チーム、子ども達がアイスホッケーを楽しみ、あきらめずにチャレンジし続ける環境づくりを目指し下記3つを掲げます。

1. 【地域課題】

肥満児が全国ワーストである青森において、運動・アイスホッケーが子ども達の日常生活の一部になるような習慣づくりに務め、子ども達が体を鍛え、心身ともに健康な体づくりができる環境整備を目指します。

2. 【地域アイデンティティー】

「挨拶、感謝、喜びを言葉と態度で表現できる選手育成」、「青森県からフリーブレイズの選手、世界に通用する選手を輩出できる選手育成」、地域が誇れるスポーツを目指します。将来、夢や目標を支えてくれた地域に恩返しをしたい、と思われるような環境整備を目指します。

3. 【夢・挑戦】

アイスホッケーを通じ、勝つ喜び負ける悔しさ、練習してできなかったことができるようになった“習得”することの楽しさを経験してもらい、夢や目標に向かってチャレンジする素晴らしさ、努力する大切さを体感できる環境づくりを目指します。

親の心得 10ヶ条

1. 試合や練習を見に行きあげましょう。子供はそれを望んでいます。

親が試合や練習を見に来る子供は上達する子が多いです。子供達は、監督・コーチに認められるよりも、お父さん・お母さんに出来たこと、頑張ったことを見てもらいたいものです。そしてそれが出来た時、頑張った時に認めてもらい、褒めてもらいたいものです。アイスホッケーに限らず、積極的に子供達の活動を見てあげてください。ただし、試合や練習を見に行き自分の子供に「みんなは出来るのにどうしてあなたは出来ないの？」というのは逆効果です。

2. 試合中はすべてのプレーヤーに励ましの言葉を送りましょう。

あなたの息子さん、娘さんにだけでなく。

自分の子供「だけ」を応援している保護者がいらっしゃいます。アイスホッケーは団体競技というのは子供でも知っています。「みんなでやっている」のに、自分の保護者が自分のこと「だけ」を応援していたら、恥ずかしいという気持ちが働き、楽しくプレー出来なくなります。

自分のチーム、相手のチーム問わず、素晴らしいプレーをした場合は「ナイスプレー」と言い、拍手を送ってあげましょう。

3. 成功も失敗にも同じように声援を送りましょう。

批判ではなく、ポジティブな声をかけてあげてください。

調子が悪かったり、ミスしたりするのは誰にでもあることです。「何で出来ないの？」や「なんであんな所でミスするの？」と言っていないでしょうか。調子が悪いことは自分が一番分かっています。それを保護者から言われると逃げ場がなくなってしまいます。良かった所を褒め、勇気づけてあげてください。

**4. コーチの選手起用を尊重しましょう。
試合中に選手起用について影響を与えようとするのはやめましょう。**

チームに預けたお子さんは、コーチを信頼し選手起用は任せましょう。一保護者の働きかけが選手起用に影響を与えてしまうと、子供達や他の保護者に戸惑いが生じます。

5. レフリーを務める人は、子ども達に怪我が生じないよう、ご配慮をお願いします。また、レフリーの判定を批判してはいけません。

国際試合においてもミスジャッジはあります。審判は公平かつ安全に試合をコントロールするように努力しています。ミスジャッジによる批判は、子供達に悪い影響を与えてしまいます。審判や保護者の協力があり試合が行えることを理解してください。

**6. 子どもが参加する事を刺激し、勇気づけてあげましょう。
プレッシャーにならないように。**

アイスホッケーをやっていると、どんな子供でもいやになる時があります。些細なきっかけにより、「練習に行きたくない！」症候群は6年間の中で必ず何回かはあるものです。それを「何言ってんの、みんな行ってるよ！、早く行きなさい！！」と理由を聞かず言っていないでしょうか？

そんな時、親として理由を汲み取り、彼らを「勇気づけて」あげましょう。

試合の時に「今日は頑張って1点とって来るんだよ！お前なら絶対取れるからね！」と送り出すのと「今日の試合で点数取れなかったら晩メシ抜きだよ！」では雲泥の差がありますよね。

言葉の掛け方一つで、プレッシャーになったり、勇気づけられたりするのです。保護者のちょっとした言葉遣いで、子供達の気持ちが「前向き」になったり「プレッシャー」になったりします。ぜひ、ポジティブな声をかけて勇気づけてあげて下さい。

7. 試合の後は結果の話だけでなく、覚えているプレー、楽しかったシーンなどについても話し合しましょう。

子供が試合から帰ってきて、「勝ったの？」「勝ったよ」「良かったね」みたいな会話しかしていないご家庭もあるのではないのでしょうか？

試合の目的は「勝つ」ことだけではないのです。

特に練習試合では必ず課題があり、勝敗にこだわらない場合があります。指導者がいくら頑張ってそれを説いた所で、保護者の興味がそれしかなければ、子供達は「勝てばいいんだろ」と思ってしまうかもしれません。試合の内容はどうだったのか？ その中で自分は何が出来たか？ 楽しかったか？「勝ち／負け」だけではなく、いろいろ聞いてあげて下さい。また「ねえねえ、今日の試合ねえ・・・」と子供達が話し始めたら聞き流さないで、しっかり聞いてあげて下さい。

子供は「親に認められたい」のです。

良かった事、悪かった事、しっかり聞いて褒めてあげて、励ましてあげて下さい。

8. 所属クラブの運営には尊敬の念を持って接しましょう。保護者と指導者間のミーティングでは、明確な指針を持ち、どのような態度で子どもに接するのかを話し合しましょう。

「クラブ」と「保護者」の関わり合いについては、しっかり合意が取れている必要があります。

クラブ運営のほとんどは、保護者やOBが中心となった「ボランティア」のはずですから、「クラブの仕事＝親の仕事」になっていると思います。そして、大抵が「役員」と呼ばれる数名の幹部の方が中心となり「クラブ」の舵取りをしているはずで

よくある話なのですが、その「役員」と「一般保護者」の「意見相違」によりチーム運営が乱れてしまいます。挙句の果てには子供共々退部するような騒動にも発展し、それこそ「何のためにやっているのか？」本末転倒状態になってしまう。こういった事態は絶対「子供のため」にはなりません。これを避けるためには、やはりコミュニケーションと相互理解が必要です。「クラブの仕事」は誰かがやらなければなりません。所属している「クラブ」がどのような性格を持ち、「保護者」としての役割分担や義務がどのようになっているのか、しっかり理解しておくことが大切だと思います。

9. 子供と同じ控え室や遠征先、室内でのタバコは控えましょう。

子供の受動喫煙による健康被害は、乳幼児突然死症候群（SIDS）、呼吸器症状（せき、たん、息切れなど）・気管支炎、肺炎、中耳炎などです。タバコはSIDSのリスク因子であり、父親と母親が喫煙者である場合は、リスクが10倍になるといわれています。また、成人になってからの肥満、糖尿病、メタボリックシンドロームに関連があることがわかってきました。

健康被害のほかにも、家庭で受動喫煙にさらされている子供は、数学および読解力が低下するというデータが報告されています。子供に「勉強しなさい」という前に、大人が禁煙を考えることが先決です。

子供の健康と将来を守るため、最低限、控え室や遠征先、子供と同じ部屋、移動中、会合などでの喫煙は控えましょう。

10. アイスホッケーをプレーしているのは子どもたちです。

決してあなた自身ではありません！

親が一生懸命であればあるほど、「子供」ではなく「保護者」が主役になってしまいます。しかし、今プレーしているのはあなたの子供です。忘れないで下さい、一生懸命頑張っている主役は、あなたではなく、あなたの子どもだということを…。

第4 4回東奥日報社杯争奪青森県チビッコアイスホッケー大会

開催要項

1. 主催 青森県アイスホッケー連盟
2. 共催 東奥日報社
3. 主管 青森県チビッコアイスホッケー運営協議会
4. 期日 令和 8年 3月14日(土) ・ 3月15日(日)
5. 会場 テクノルアイスパーク八戸
6. 参加チーム 八戸ホワイトベア 八戸北ジュニア・青森ジュニア合同
八戸シーガルズ Hachinohe Club U12
八戸南ジュニア 三沢ジュニア
ななっちふくちジュニア 以上、7チーム
7. 競技規則 国際競技規則並びに(公財)日本アイスホッケー連盟の定めるローカルルールを原則とし、青森県チビッコアイスホッケー運営協議会の定めるローカルルールによるものとする。
8. 競技方法 PeeWee(A)グループは、トーナメント方式による。3位決定戦及び順位戦も行う。
フルアイスで行い、第3ピリオド終了時、同点の場合 延長戦は行わず、直ちに3名ずつのペナルティショットシュートアウト(PSS)で勝敗を決する。さらに 同点の場合は、サドンデス方式によるペナルティショットシュートアウト(PSS)で勝敗を決する。
Squirt(B)グループは、トーナメント方式による。3位決定戦及び順位戦も行う。
クロスアイスサイズ、3vs3で行い、中間サイズのゴール、通常サイズのパックを使用。
30分終了時、同点の場合、直ちにサドンデス方式によるペナルティショットシュートアウト(PSS)で勝敗を決する。
Mite(C)グループは、クロスアイスサイズ、ミニゴール、ブルーパックを使用、GKなしでパイロンを配置して、チームシャッフルで行う。勝敗は決しない。
miniMite(C)グループは、2vs2で行う。チームスタッフ同士の判断により人数を3vs3に変更してもよい。ミニアイスサイズでゲームを行い、他はMiteと同様。
9. 競技時間 PeeWee(A) 練習5分 正味15分 休憩3分 2P終了後、整氷
但し、1回戦のみ 練習なし ロス込み15分 休憩2分 2P終了後、整氷
Squirt(B) ロス込み 30分
Mite・miniMite(C) ロス込み 30分
※PeeWee(A)グループのペナルティ時間は、正規とする。なお、1回戦のロス込みでの試合のペナルティ発生時は、速やかにペナルティベンチに反則した選手が入り、電光掲示板に表示せず、次のフェイスオフから2分後に選手を出場させる。
ホイッスル後にペナルティが終了した場合には、次のフェイスオフ後から出場可能。
※Squirt(B)グループのペナルティ発生時は、当該選手のみが2分間出場停止。
試合は同数で行う。
※タイムアウトはなしとする。
※整氷はPeeWee(A)グループの第2ピリオド終了後、10分間の休憩とともに行う。
整氷時のゴール移動は、オンアイスオフィシャルが行うこと。

10. 参加制限 監督・コーチ・トレーナーは、原則としてプログラムにスタッフ登録している者とし選手登録は、PeeWee(A)グループ 22名（うち GK 2名）、Squirt(B)グループ以下は特に制限を設けない。
Squirt(B)から3名までチャレンジ枠として PeeWee(A)に出場できる。
（メンバー表提出時に、「チャレンジ」と記載し選手登録すること）
11. オフィシャルについて
PeeWee(A)のオフィシャルは、「レフェリー」「ラインズパーソン（2名）」「アナウンス」「タイムキーパー」「得点掲示」「反則掲示」「ペナルティーベンチ」「ゴールジャッジ」「シュート数」「ゲームシート記入」を含めた、フルオフィシャルで行い、ゲームシートには得点・シュート数・GK 滞氷時間等すべて記録すること。
円滑に試合を行うことが出来る場合には、役割の兼務も可能。
Squirt(B)のオフィシャルは、「レフェリー（2名）」「タイムキーパー」「得点掲示」「試合結果記入」を行う。
Mite・miniMite(C)のオフィシャルは「レフェリー（2名）」「miniMite・ゲーム責任者（2名）」「タイムキーパー」を行う。
クロスアイスボードの設置・撤去担当は、前試合終了後速やかにクロスアイスボード、中間サイズゴールの設置、撤去を行う。
12. レフェリーについて
PeeWee(A)のレフェリーは、オフィシャル担当チームがレフェリー（1名）、ラインズパーソン（2名）で対応することとする。
なお、レフェリーは、レフェリー登録者に限る。
（登録カテゴリーについては、チビッコカテゴリーにこだわらない。）
13. 大会担当 担当チーム：Hachinohe Club U12
大会担当チームは、試合当日までにクロスアイスボード、各ゴールを保管場所より搬出し、大会会場のリンクサイドへ移動させておくこと。
大会終了後は、元の保管場所へ移動して終了とする。
14. 開会式・閉会式について
開会式・閉会式は行わない。
表彰式のみ、下記の日時で開催
令和8年3月15日（日）17時45分より リンク氷上において
○PeeWee（A）に参加している全チーム、最低3名以上の参加をお願いします。
15. その他
◇個人情報及び肖像権について以下のように取扱う。
①主催者は、個人情報の取扱いについて、個人情報の保護に関する法律、及び関連法令等を遵守する。（参加申込書等により取得した個人情報は、大会参加資格審査、プログラム作成及び結果(記録)発表等、競技の運営に利用する）
②大会の映像や写真、競技結果等は、主催者及び主催者が承認した第三者が大会運営及び宣伝等の目的で、大会プログラム、ポスター、テレビ、ラジオ放送、新聞、雑誌、インターネット（SNS）等に利用することがある。
③主催者の許可を受けた事業者が、記念写真等の販売を行うことがある。
④主催者は、参加申込書の提出により、上記の取扱いに関する承諾を得たものとする。

第44回東奥日報社杯 試合日程

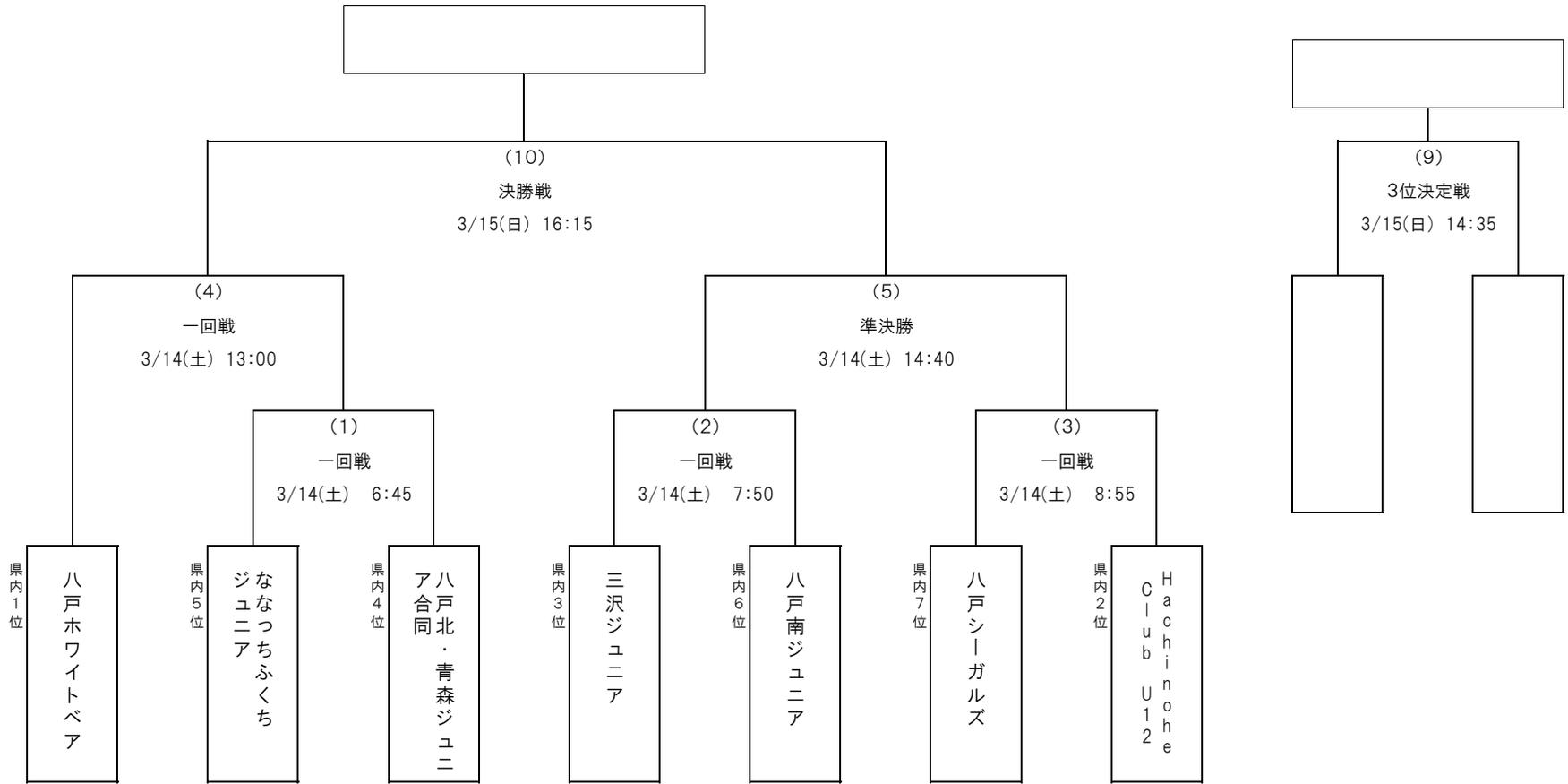
3月14日(土)

試合No.	グループ		試 合				試合時間	オフィシャル
(1)	PeeWee	一回戦	ふくち	vs	北・青森	6:45- 7:50	三沢	
(2)	PeeWee	一回戦	三沢	vs	南	7:50- 8:55	シーガルズ	
(3)	PeeWee	一回戦	シーガルズ	vs	ハチクラ	8:55-10:00	南	
クロスアイスボード設置						10:00-10:20	ハチクラA	
①	Spurt	一回戦	ホワイトベア	vs	シーガルズ	10:20-10:55	北・青森	
②			ハチクラA	vs	三沢			
③	Spurt	一回戦	南	vs	北・青森	10:55-11:30	ホワイトベア	
④			ふくち	vs	ハチクラB			
			Mite			11:30-12:05	シーガルズ	
			miniMite					
⑤	Spurt	準決勝	①の勝ち	vs	②の勝ち	12:05-12:40	④の負け	
⑥			③の勝ち	vs	④の勝ち			
クロスアイスボード撤去						12:40-13:00	ふくち	
整 氷								
(4)	PeeWee	準決勝	ホワイトベア	vs	(1)の勝ち	13:00-14:30	(1)の負け	
整 氷						14:30-14:40	(1)の負け	
(5)	PeeWee	準決勝	(2)の勝ち	vs	(3)の勝ち	14:40-16:10	(1)の勝ち	
整 氷						16:10-16:20	(1)の勝ち	
(6)	PeeWee	敗者戦	(1)の負け	vs	(2)の負け	16:20-17:50	(3)の勝ち	

3月15日(日)

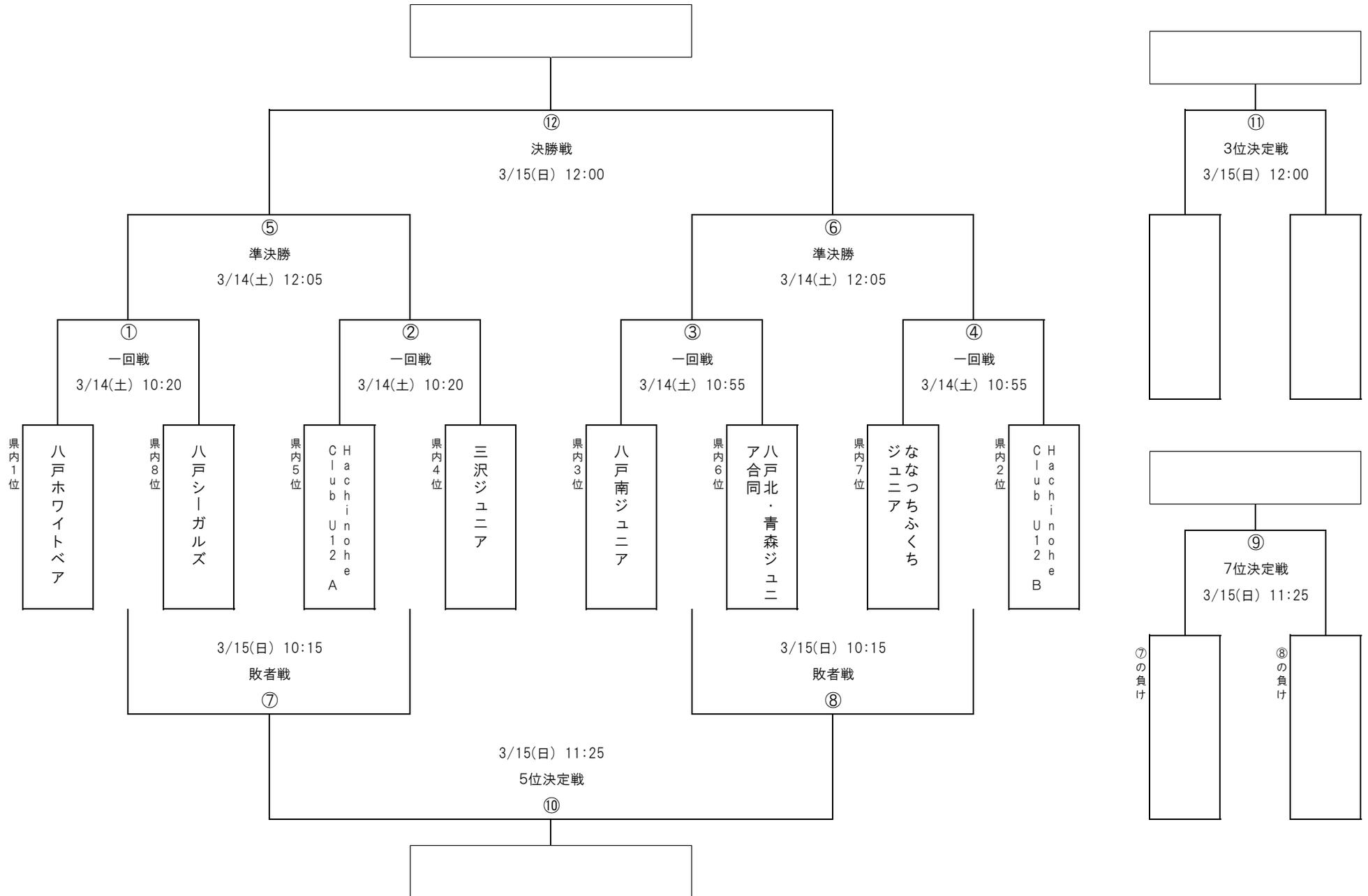
試合No.	グループ		試 合				試合時間	オフィシャル
(7)	PeeWee	敗者戦	(2)の負け	vs	(3)の負け	8:25- 9:55	ホワイトベア	
クロスアイスボード設置						9:55-10:15	三沢	
⑦	Spurt	敗者戦	①の負け	vs	②の負け	10:15-10:50	②の勝ち	
⑧			③の負け	vs	④の負け			
			Mite			10:50-11:25	ハチクラB	
			miniMite					
⑨	Spurt	7位決定戦	⑦の負け		⑧の負け	11:25-12:00	①の勝ち	
⑩		5位決定戦	⑦の勝ち		⑧の勝ち			
⑪	Spurt	3位決定戦	⑤の負け		⑥の負け	12:00-12:35	③の負け	
⑫		決勝戦	⑤の勝ち		⑥の勝ち			
クロスアイスボード撤去						12:35-12:55	南	
整 氷								
(8)	PeeWee	敗者戦	(1)の負け	vs	(3)の負け	12:55-14:25	(2)の負け	
整 氷						14:25-14:35	(2)の負け	
(9)	PeeWee	3位決定戦	(4)の負け	vs	(5)の負け	14:35-16:05	(4)の勝ち	
整 氷						16:05-16:15	(4)の勝ち	
(10)	PeeWee	決勝戦	(4)の勝ち	vs	(5)の勝ち	16:15-17:45	(5)の負け	
*	PeeWee		表 彰 式				17:45-18:00	

【PeeWee】トーナメント表



敗者戦	(1)の負け	(2)の負け	(3)の負け	勝	敗	勝点	得失点	順位
(1)の負け		(6)	(8)					
(2)の負け			(7)					
(3)の負け								

【Squirt】トーナメント表



協賛企業一覧

ならばは順不同



STERRACE INC.



八戸自洗舎
八戸リネンサプライ(株)



AILERON WEST VILLAGE



吉田産業



おっとも脳神経クリニック



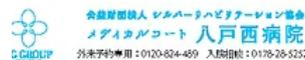
尾崎商店



医療法人 ひとみ会

(株) サイガミ重機工業

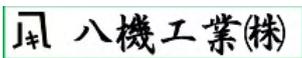
プライフーズ



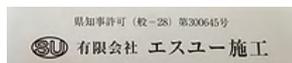
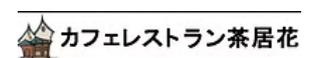
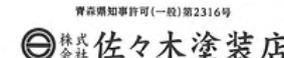
田中設備工業



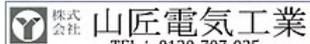
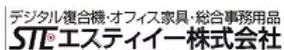
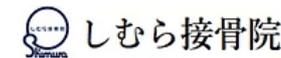
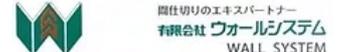
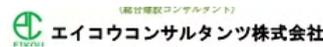
株式会社 釜商



八戸工業大学



山本歯科医院



YAHRS INC.

八戸市の貸切りトレーニングスペース
MASUGATA BASE



